熊野から

ロマネスク

ROMANESQUE

思い出した——私がだれであったかを——。

田中千世子 監督作品

海部剛史
雨蘭咲木子
鈴木弥生
KENT
丹野穂乃香
富山紋
今梨恵子
鎌田莉彩

製作・監督＝田中千世子
撮影＝鈴木一博
監督助手・撮影助手＝山本大輔
録音＝渡邊丈彦
編集＝小林由加子
音楽＝chuta
朗読＝中村洋子
スチル＝遠崎智宏

配給＝田中千世子事務所
宣伝＝ライスタウンカンパニー
2015／85分／DCP

二人は春の吉野で出逢い、秋の三輪で再会を約束した——。
新宮、吉野、熊野、難波、三輪、二上山——神話の世界へ導かれた偶然の出会い。

前作『熊野から』3年、

「あしびきの山のしずくに妹まつとわが立ち濡れし山のしずくに」
大津皇子が詠んだこの待ちぼうけの和歌は、
吉野で出逢い、再会を約束した彼と彼女に重なる。
旅先で偶然に出会っただけの二人。
この他に何もない同士の約束はロマンチックだ。

きさらぎ尚 ❖映画評論家

田中千世子監督は、もはや誰にも似ていない、
究極に自由なる孤高のスタイルを確立している。
ドラマとドキュメンタリーをミックスさせた作品は多いが、
千世子作品の構成は良い意味でカオス的で驚かされるのである。

矢田部吉彦 ❖東京国際映画祭プログラミング・ディレクター

お燈祭りの熊野、桜の吉野、秋分の三輪山、二上山といった
日本古来の風景や折口信夫の「死者の書」の朗読のなかに
突然「クローディーヌ」と異国の名前が出てきたときは、
クラッと揺らぐような不思議な感覚を覚えた……。

少女たちのロマネスクな行方が気になる。

牧野圭祐 ❖シナリオ・ライター

うつそみのひとなるわれや
あすよりは ふたかみやまを
いろせなもけむ

神話の世界へ。

新宮、吉野、熊野、難波、三輪、二上山——「死者の書」をめぐり、

熊野から ロマネスク

STORY 「コードネームはクローディーヌ」と名のる若い女子に吉野で出会った海部がそれを旅の雑誌に書くと、「私こそクローディーヌ」と書かれた手紙が編集部に届く。俳優でもある海部は狂言仕立ての不条理劇にとりかかり、従姉や女性編集者に励まされながらも、二人のクローディーヌのことが気にかかる……。セミ・ドキュメンタリーの前作『熊野から』を原点として劇映画に変貌した続編。折口信夫の「死者の書」に導かれるように若きヒロインは二上山をめざす……。

WWW.KUMANOKARA.COM

2/18(土)よりモーニングショー

全国共通特別鑑賞券¥1,200(税込)発売中

イベント情報
最新情報は公式HP
www.kumanokara.com
にてご確認下さい

◉2/18(土)［舞台挨拶］田中千世子監督・海部剛史・鈴木弥生・富山紋 他
◉2/19(日)［トークショー］及川道之(秋草学園短期大学教授)〈三輪山と二上山〉
◉2/25(土)［対談］田中千世子監督&丹野穂乃香
◉2/26(日)［トークショー］中村洋子(朗読者)〈能の謡と「死者の書」の朗読〉
◉3/ 4(土)［トークショー］雨蘭咲木子(女優・声優)〈宇宙の神秘と熊野のパワー〉
◉3/ 5(日)［ギター &トーク］CHUTA(ギタリスト)
◉3/10(金)［トークショー］田中千世子監督〈『熊野から』3部作の構想〉

［シアター］
イメージフォーラム
03(5766)0114
http://www.imageforum.co.jp
［自由席・整理制・定員入替制］

渋谷駅より徒歩8分　宮益坂上り青山通り表参道方面一つ目の信号右入る

11時10分より毎日1回上映〈3月10日まで〉